

鹿児島ケース株式会社

超精密板金加工による 医療関連機器コア部品の製造

従来ミクロン単位の精度を持つマシニング設備等でしか加工できなかったコア部品を、当社独自の加工ノウハウを生かし、機能面はそのままで圧倒的に加工時間が短かく安価な超精密板金加工への置き換えを目指す。



航空写真(会社外観)

事業のきっかけや目的

高齢化の進展による医療機器の開発増大へのニーズの高まりがあり、医療機器市場は年々拡大しており、世界的にも年率8%程度の成長率を維持するという予測がある。このため今後は、「医療機器」向け精密板金部品を提供することを目指している。

事業の取り組み内容と成果

サンプル製品を検証した結果、初期の目標であった精度である±0.1mm以内は達成することが出来た。また機械導入によりリードタイムも10%短縮することができ、生産性向上に大きく貢献し、機械装置の有効性を確認できた。加工精度が向上することにより、半導体製造装置等の部品のみならず、医療関連機器への参入も可能になった。

事業化に向けての今後の取り組み

当社は、精密板金加工分野において各種の特殊なノウハウを持っている。今まで、半導体製造装置メーカー、食品製造装置メーカーや、梱包機器装置メーカーのコア部品を作成しているが、今回はこのノウハウを更に発展させ高精度かつ難加工が必要とされる医療機器分野の部品を受注することに取り組んでいく。



曲げ加工



加工テストサンプル



テスト加工

S • U Z • U - I S H I N

小さな金具から制御盤まで

精密板金加工、製缶板金加工を手がける当社では、小さな金具から制御盤まで幅広く製作しています。最先端の設備を導入し、それを使いこなすノウハウを備えた職人が製造にあたっています。「高品質・低コスト・短納期」と、ニーズの多様化による「多品種少量生産」の両立を目指すべく、「クオリティファースト」を念頭に、お客様からの信頼、お客様への実証を掲げ、挑戦を続けてまいります。

企業 DATA

鹿児島ケースが創業して59年。木工業として操業を開始しましたが、時代の流れと共に、お客様と共に、技術をたゆみなく磨き、世代を超えて発展し続けています。得意なモノづくりの分野は、精密板金加工。多様な種類の鋼板からお客様のイメージする様々な形を作りあげます。



代表取締役社長 居迫 伸孝

事業者	鹿児島ケース株式会社
代表者	代表取締役社長 居迫 伸孝
設立年月日	昭和38年5月14日
所在地等	〒899-3309 日置市吹上町与倉4954番地19 TEL 099-245-1960 FAX 099-245-1961 E-mail info@kcase.co.jp URL https://www.kcase.jp
資本金額	1,000万円
従業員	46名
業種	金属製品製造業